

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2011-25228(P2011-25228A)

【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2010-136283(P2010-136283)

【国際特許分類】

B 0 1 D 41/02 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 41/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月12日(2013.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

外筒 2' の下部に導入された濾過材 1 1 2 a は、スクリーコンベア 4' の螺旋羽根 1 8 により揉み洗いされつつ上方に移送されるが、その間に濾過材 1 1 2 a は洗浄され濁質が濾過材 1 1 2 a から剥離する。この洗浄された濾過材 1 1 2 a は、剥離された濁質を含む逆洗液 1 2 2 とともに排出管 6 1 a を通過して濾過タンク 1 0 1 に排出される。スラリーのレベル 1 0 9 とレベル 1 2 0 の間には濾過材 1 1 2 a が流動しないので、前述の内部管 1 0 7 からは濁質を含む逆洗液 1 2 2 のみが流出する。この間、逆洗液 1 2 2 は、常時排出口 1 0 6 から濾過タンク 1 0 1 内に注入されているので、濁質を含む逆洗液 1 2 2 は内部管 1 0 7 から連続して外部に排出される。従って、濾過タンク 1 0 1 と洗浄装置 1 a 内を循環する逆洗液 1 2 2 中の濁質は、徐々に減少する。制御部 3 0 は、スクリーコンベア 4' を揉み洗いに適した回転数にするために操作される。この回転数は、例えば、半径 1 0 c m のスクリーコンベア 4' の場合、スクリーコンベア 4' の外縁の周速度が 4 m/秒以下となるように設定されることが好ましい。